



新型コロナウイルス感染症 国内でのワクチン接種開始

令和3年2月24日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

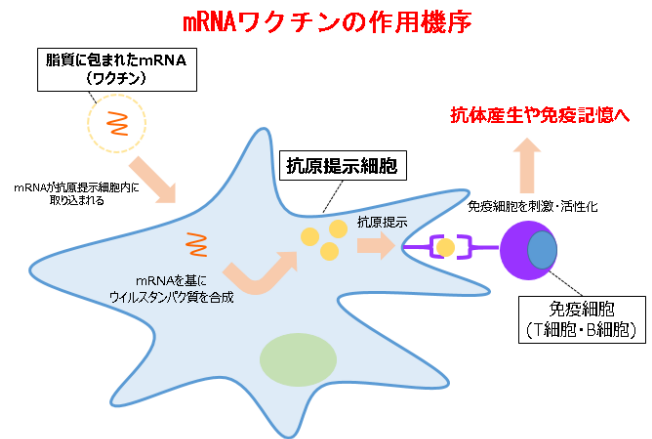
感染症発生動向速報

(令和3年第7週分・2月15日～2月21日)

《インフォメーション》

●現時点での新型コロナウイルスワクチンについて

令和3年2月17日より、国内で医療従事者向けに新型コロナウイルスワクチンの先行接種が開始されました。富山県内では2医療機関が対象となっています。現在、日本で承認されているワクチンはファイザー社のメッセンジャーRNA(mRNA)ワクチンのみです。mRNAは体の中では分解されやすいため、本ワクチンのmRNAは脂質ナノ粒子に包んでカプセル化されています。筋肉内に接種されたmRNAワクチンは樹状細胞という抗原提示細胞に取り込まれ、細胞内でmRNAを鋳型として新型コロナウイルスのスパイクタンパク質がつくられます。合成されたスパイクタンパク質の一部が抗原提示細胞によってリンパ球(T細胞、B細胞)に提示され、スパイクタンパク質に対する抗体産生を誘導します(図)。



（図）。新型コロナウイルスがヒトの細胞内に侵入するためにはヒト細胞上のウイルス受容体であるアンギオテンシン転換酵素2(ACE2)と結合する必要がありますが、ワクチン接種により誘導されたスパイクタンパク質に対する特異抗体はウイルスの細胞内への侵入阻止作用を発揮すると考えられます。

海外の臨床治験では発症予防効果が約95%と高いことが報告されています。また、臨床治験におけるワクチン接種に伴う有害事象としては接種部位の痛みや倦怠感等が報告されていますが、いずれも軽度です。一方、米国における調査ではmRNAワクチンによるアナフィラキシー反応が報告されていることから、過去にアレルギー歴のある人はワクチン接種時には注意が必要です。しかしながら、mRNAワクチン接種の有効性による利益性が、有害事象による不利益性を上回っていると評価できます。このため、本ワクチン接種が望ましいと考えられます。今後、医療従事者、高齢者の順でワクチン接種が開始される見込みです。次に、高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方への接種が予定され、その後に16歳以上の一般の方への接種が計画されています。ワクチン接種が開始されたことに気を緩めることなく、これまで同様にマスク、手洗い等の基本的な感染対策を継続することが重要です。

《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 15件
四類感染症 レジオネラ症 1件(第6週診断分:80歳代、女性、肺炎型)
五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件(70歳代、男性)
侵襲性肺炎球菌感染症 1件(60歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.72(↑)	1.97
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.55(↓)	1.59
3位	咽頭結膜熱	0.55(↑)	0.41
4位	突発性発しん	0.24(↓)	0.41
5位	細菌性髄膜炎	0.20(↑)	0.00
6位	水痘	0.07(↑)	0.00

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第7週 令和3年2月15日～令和3年2月21日）

分類	疾患	今週報告分（第7週）						累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	2	2	4	4	3	15	17	48	57	15	186	323
二類感染症	結核							2	1	4	1	4	12
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1			1
四類感染症	E型肝炎											1	1
	レジオネラ症									1		1	2
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1			1			1			1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1	1		1		2	4
	水痘（入院例）											1	1
	梅毒								1	1		2	4
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ									4			4
	RSウイルス感染症									1		4	5
	咽頭結膜熱	2 0.50	2 0.67	7 0.88		5 0.50	16 0.55	12	8	43	1	18	82
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.50	2 0.67	26 3.25	5 1.25	10 1.00	45 1.55	8	9	121	14	47	199
	感染性胃腸炎	21 5.25	14 4.67	22 2.75		22 2.20	79 2.72	121	63	107	8	97	396
	水痘					2 0.20	2 0.07	1	3	5	2	5	16
	手足口病			1 0.13			1 0.03			4	1	1	6
	伝染性紅斑					1 0.10	1 0.03			3		3	6
	突発性発しん	1 0.25		3 0.38	1 0.25	2 0.20	7 0.24	8	4	24	10	23	69
	ヘルパンギーナ	1 0.25					1 0.03	7					7
	流行性耳下腺炎									3		2	5
	流行性角結膜炎								1				1
	細菌性髄膜炎					1 1.00	1 0.20					1	1
	無菌性髄膜炎											1	1
	マイコプラズマ肺炎								1	4			5
	インフルエンザによる入院患者（*）				1		1					5	5

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

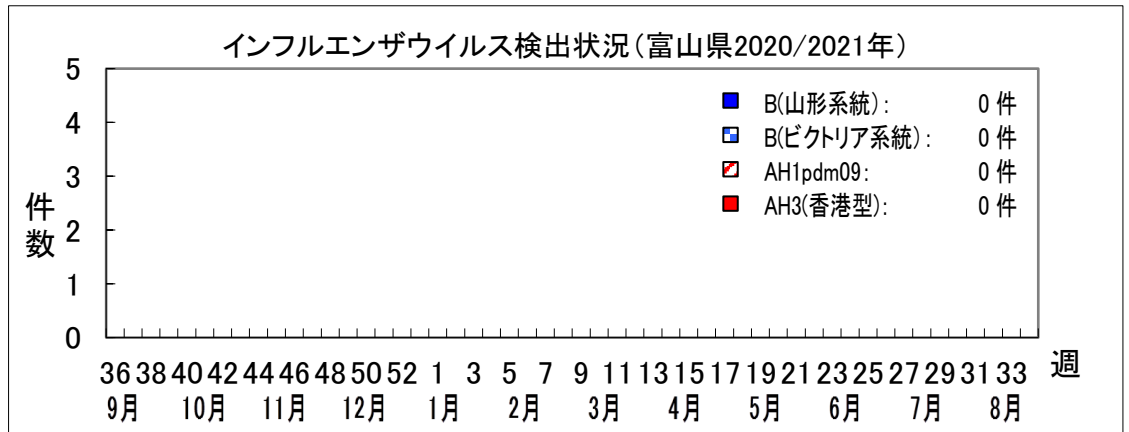
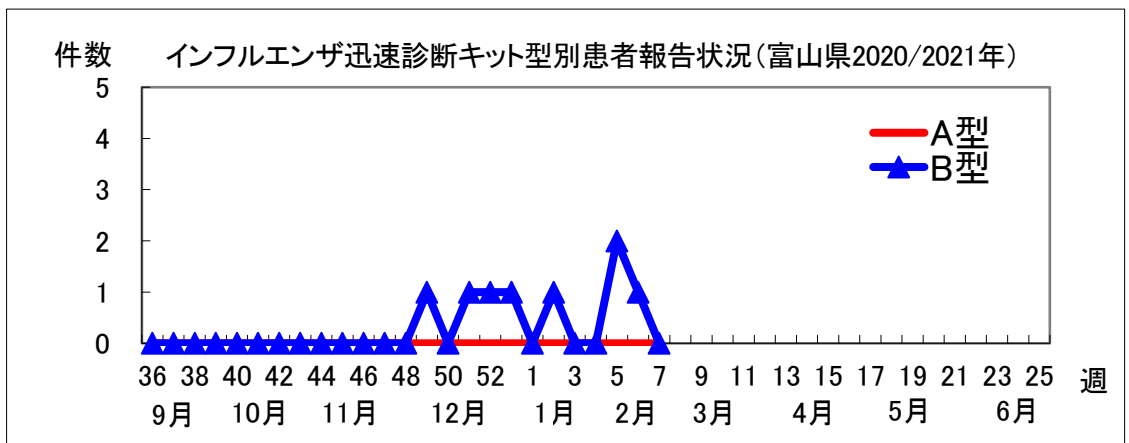
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

第7週(2/15~2/21)：富山県 0.00人/定点

(単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	0 / 7	0	0	0	0
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	0 / 13	0	0	0	0
砺波	0 / 7	0	0	0	0
富山市	0 / 16	0	0	0	0
富山県	0 / 48 ^{※1}	0	0	0	0
富山県累計(2020年36週~)		0	8	1	9

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が0か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



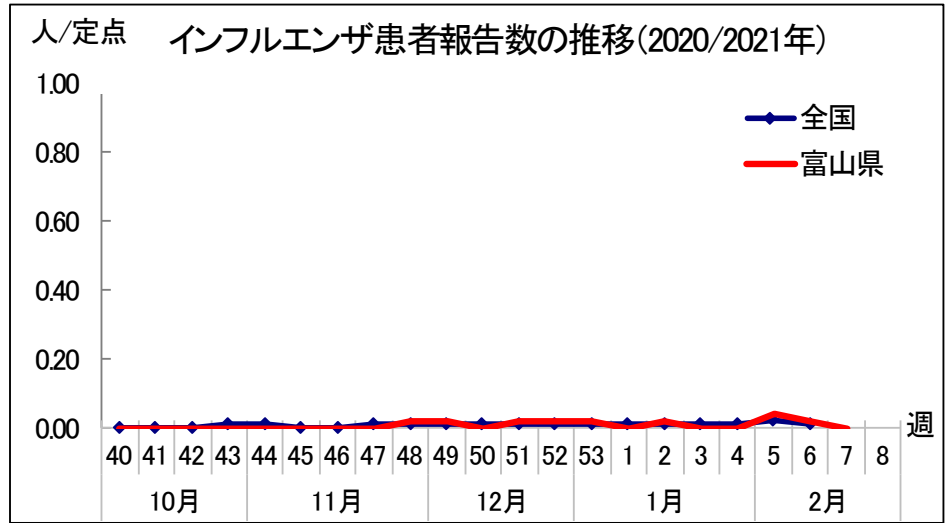


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第7週 (2/15~2/21) : 富山県 0.00 人/定点

新川 HC (0.00)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.00)、砺波 HC (0.00)、富山市 HC (0.00)

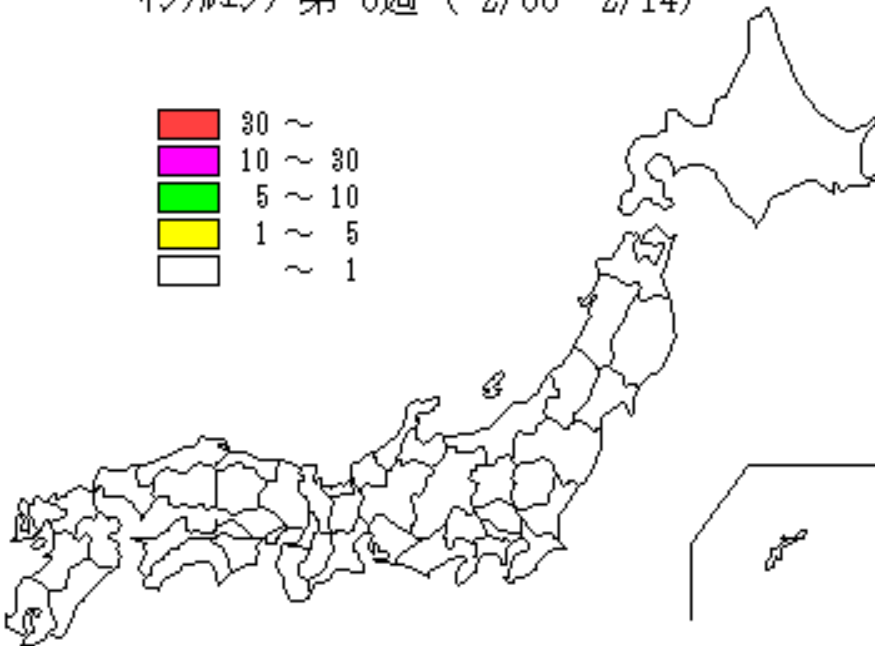
全国・富山県共にインフルエンザ患者報告数は少ない状態が続いています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第6週 (2/8~2/14)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.01 人です。

インフル第6週 (2/08- 2/14)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.02	滋賀県	0.02
青森県	0.00	京都府	0.03
岩手県	0.00	大阪府	0.01
宮城県	0.00	兵庫県	0.00
秋田県	0.00	奈良県	0.00
山形県	0.33	和歌山県	0.00
福島県	0.04	鳥取県	0.00
茨城県	0.00	島根県	0.03
栃木県	0.00	岡山県	0.00
群馬県	0.00	広島県	0.00
埼玉県	0.01	山口県	0.01
千葉県	0.02	徳島県	0.00
東京都	0.00	香川県	0.00
神奈川県	0.01	愛媛県	0.03
新潟県	0.00	高知県	0.00
富山県	0.02	福岡県	0.00
石川県	0.00	佐賀県	0.00
福井県	0.00	長崎県	0.00
山梨県	0.00	熊本県	0.00
長野県	0.00	大分県	0.00
岐阜県	0.02	宮崎県	0.00
静岡県	0.00	鹿児島県	0.00
愛知県	0.01	沖縄県	0.02
三重県	0.13	全国	0.01